

運動器機能評価システム説明会

県医師会館オンライン研修 2022年9月6日

運動器機能評価の現状

公益社団法人 熊本県医師会理事

中村英一

運動器機能評価事業



Home



地域リハビリテーションとは



活動状況



各支援センター



研修会用等マニュアル



講演会のご案内



- 具体的な支援内容について
- 令和3年度熊本県地域リハビリテーション支援センター事業計画
- 令和3年度熊本県地域リハビリテーション支援センター活動状況
- 令和3年度地域リハビリテーション広域支援センター指定施設一覧

コンテンツを 下さい

令和4年度熊本県 地域リハビリテーション支援センター事業計画

一 熊本県地域リハビリテーション支援センター

1. 広域支援センター及び密着リハセンターへの技術的支援

- 運動器機能評価システムの運用

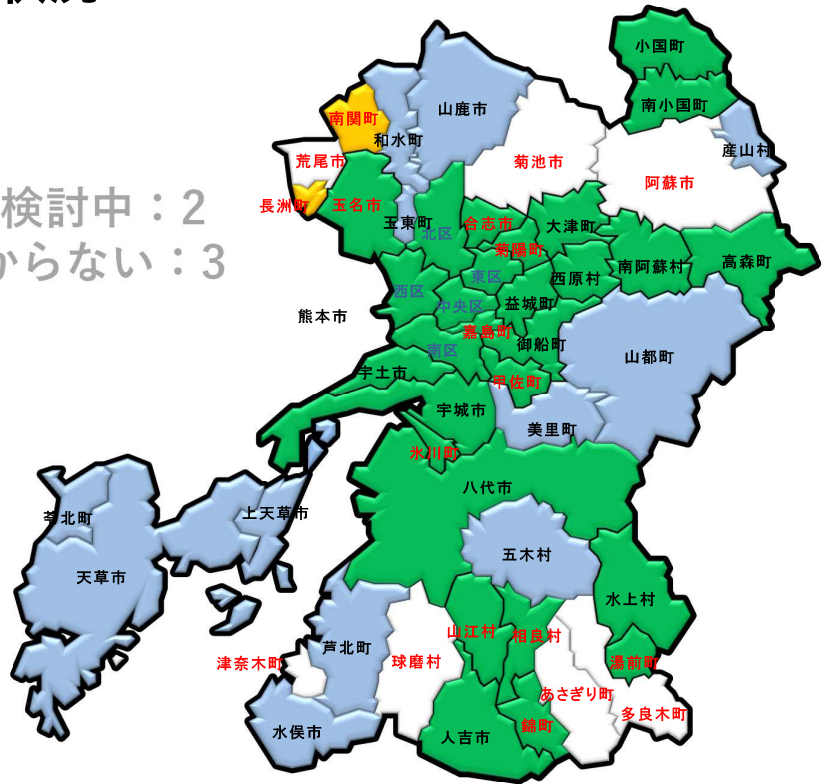
介護予防の取組効果検証を目的として、熊本県内の高齢者の標準的な体力を共通した方法で測定、データ収集する運動器機能評価システムについて、運用及びデータ分析を行う。

運動器機能評価フォーム使用状況

45市町村：使用36/未使用9

- コロナでできなかった or 検討中：2
- 知らない、使用方法がわからない：3
- 評価していない：2 計7
- 独自の評価方法を使用：2
- 同じ民間業者に委託：24

熊本市、合志市、玉名市、菊陽町、高森町、
 大津町、西原村、小国町、南小国町、南阿蘇村、
 御船町、嘉島町、益城町、宇城市、宇土市、
 甲佐町、八代市、氷川町、人吉市、錦町、
 水上村、相良村、山江村、湯前村



運動器機能評価事業

目的：熊本県内高齢者（65歳以上）について、県全体及び市町村等における体力を知ること
 標準的なデータ（全国平均値）と比較し、事業参加者の運動器機能を客観的に評価する

1) 評価：

- 誰が
- どのような項目を
- いつ、どんな方法で

広域・密着リハセンター、市町村・地域包括支援センター、各事業所など

同じ方法で評価するフォームを使用 ➡ 普及

2) データ収集：

- どのような方法で

フォームをメールで支援センター（県医師会）へ送付 ➡ 全圏域から収集

3) データ解析：

- どうするか

何を解析するか？

解析方法は？

4) データ活用：

- どうするか

- ① 全国平均と比較し、熊本県高齢者の運動機能を客観的に把握する
- ② 各圏域等において介入効果を比較する
- ③ 個人ごとの運動機能の変化による介入プログラムの見直し・改善を行う

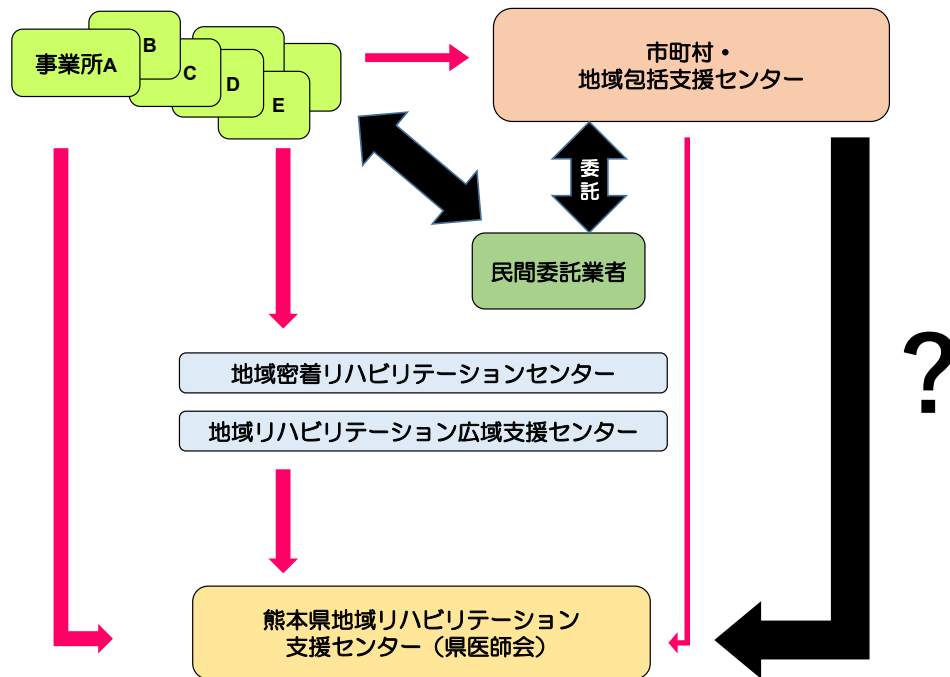
➡ 介入方法の改善・統一

5) システム改訂：

- 今後どうするか

表示形式の変更、評価項目の増減、個人の紐付け（KMN）など

データ収集における流れ



運動器機能評価事業

目的：熊本県内高齢者（65歳以上）について、県全体及び市町村等における体力を知ること
標準的なデータ（全国平均値）と比較し、事業参加者の運動器機能を客観的に評価する

1) 評価：

- 誰が
- どのような項目を
- いつ、どんな方法で

広域・密着リハセンター、市町村・地域包括支援センター、各事業所など

同じ方法で評価するフォームを使用 ➡ 普及

2) データ収集：

- どのような方法で

フォームをメールで支援センター（県医師会）へ送付 ➡ 全圏域から収集

3) データ解析：

- どうするか

何を解析するか？

解析方法は？

4) データ活用：

- どうするか

- ① 全国平均と比較し、熊本県高齢者の運動機能を客観的に把握する
- ② 各圏域等において介入効果を比較する
- ③ 個人ごとの運動機能の変化による介入プログラムの見直し・改善を行う

➡ 介入方法の改善・統一

5) システム改訂：

- 今後どうするか

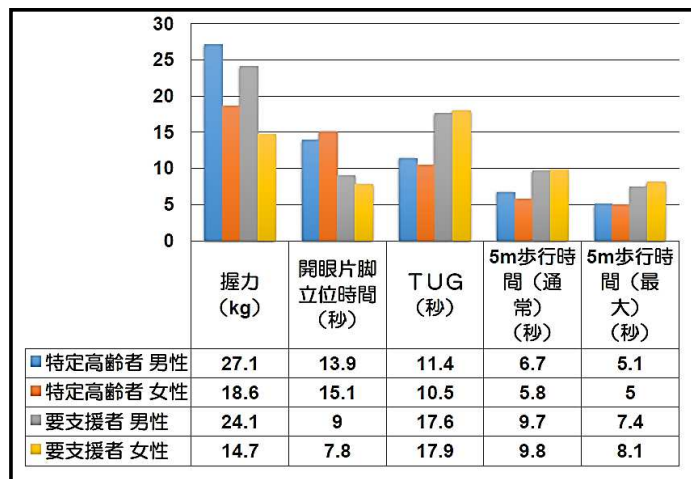
表示形式の変更、評価項目の増減、個人の紐付け（KMN）など

高齢者（≥65歳）の運動機能評価

一般的な体力測定は、筋力・筋持久力、敏捷性・スピード、平衡性・協応性、持久力、柔軟性で評価

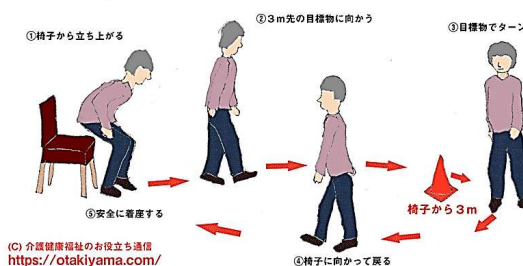
厚生労働省 介護予防マニュアル（平成24年3月改訂版）
で推奨される運動機能の評価項目

全国平均値



要素	種目
1) 筋力	(1) 握力
3) 静的バランス	開眼片足立ち
5) 歩行能力	(1) 5m通常歩行速度
	(2) 5m最大歩行速度
6) 複合動作能力	Timed up & go test (TUG)

Timed "Up and Go" Test (TUGテスト)



文部科学省 「新体力テスト実施要項（65～79歳対象）」
厚生労働省 「運動器の機能向上マニュアル（改訂版）」

データ解析方法（資料3、4）

- 要介護度別 : 一般高齢者、要支援1、要支援2、要介護1、要介護2
- 評価開始時年齢別 : 65歳未満、65～75歳、75～85歳、85～95歳、95歳以上
- 性別 : 男性/女性
- 圏域別 : 17圏域/45市町村

フィードバック ↓

広域・密着リハセンター、市町村・地域包括支援センター、各事業所など

- ◆ 年齢別・性別など全国平均値と比較することで、全体像が評価できる。
- ◆ 高齢者の運動機能の特徴は個人差の増大であり、ひとりひとり個別に筋力・バランス・歩行能力・複合的動作能力などの体力諸要素が評価できる。
- ◆ それに基づき、個別に包括的な介入プランを提供していくことができる。

運動器機能評価事業

目的：熊本県内高齢者（65歳以上）について、県全体及び市町村等における体力を知ること
標準的なデータ（全国平均値）と比較し、事業参加者の運動器機能を客観的に評価する

1) 評価：

- 誰が
- どのような項目を
- いつ、どんな方法で

広域・密着リハセンター、市町村・地域包括支援センター、各事業所など

同じ方法で評価するフォームを使用 → 普及

2) データ収集：

- どのような方法で

フォームをメールで支援センター（県医師会）へ送付 → 全圏域から収集

3) データ解析：

- どうするか

何を解析するか？

解析方法は？

4) データ活用：

- どうするか

- ① 全国平均と比較し、熊本県高齢者の運動機能を客観的に把握する
- ② 各圏域等において介入効果を比較する
- ③ 個人ごとの運動機能の変化による介入プログラムの見直し・改善を行う

→ 介入方法の改善・統一

5) システム改訂：

- 今後どうするか

表示形式変更、評価項目増減、個人の紐付け（熊本メディカルネットワーク）等

メール番号	所属(勤務先)	職種	質問
36	ひかり峯苦クリニック	理学療法士	評価表を使って 変わったこと 効率良くなったとか 思っていたより動けた 数値が低かったなど 思ってたこととのちがいがあったら教えてほしいです。
53	御船町役場 福祉課 地域包括支援センター	保健師	年2回程度、運動器機能評価データベースシステムに介護予防教室参加者の体力測定結果を入力しています。運動器機能評価データベースシステムに同じように、各市町村の体力測定結果が入力されているのではないかと思います。各市町村より、体力測定結果のデータが集まってきているかと思いますが、 体力測定結果の「熊本県の平均値」の結果など、各市町村に対して報告を行うなどフィードバックの予定はありますか。
88	大津町地域包括支援センター 介護保険課 地域包括支援係	主事	地域や区域ごとのデータの統計は取れますか？(例)町内の通いの場で、活動回数が1回/週の団体と、4回/週の団体の測定データを比較したい…など。
114	水俣市 いきいき健康課 高齢介護支援室	保健師	事業所番号コードのつけ方について、例えば、市の介護予防事業の利用者を登録する場合、実施場所ごとにコードをつけることは可能ですか？ 市で登録した利用者の情報を委託先の事業所や広域リハ等と共有できますか？
129	甲佐町役場 福祉課 地域包括支援係	保健師	他市町村の通いの場における介護予防活動促進事業の活用状況と実際の活用事例を参考までにお聞きしたいです。
140	八代市高齢者支援課 介護予防係	保健師	片足立ちで最長2分とされていますが、1回目とても頑張っても1分50秒で次も1分50秒くらいされると、疲れてもう片方の足は数秒で終わられたりもします。1人に対して、説明も含めて10分くらい要することもあり、疲れさせないような効果的な測定方法を教えてください。(人数の多い会場では実施が難しかったです。)
147	リハセンターひばり	理学療法士	レベルに応じた訓練内容